



多治見市政記者クラブ同時配布資料

岐阜県政記者クラブ加盟社 各位

令和7年2月28日(金)岐阜県発表資料			
所 属	担 当 課	担 当 者	電 話 番 号
東濃県事務所	環境課	下野	代表 0572-23-1111(内線212) FAX 0572-25-0079

かさはらちょう 多治見市笠原町地内における土壤汚染について

多治見市土地開発公社（以下、「土地開発公社」という。）が、工業用地造成工事に伴い発生した土壤を調査したところ、土壤環境基準を超える「ヒ素」が検出されたため、本日（2月28日）、土地開発公社から東濃県事務所に報告がありました。

1 報告内容

(1) 調査地点

多治見市笠原町地内

(2) 調査結果の概要

調査時期：令和6年12月

土壤溶出量

項目	調査 検体数	基準超過 検体数	調査結果 (mg/L)	土壤環境基準 (mg/L)	基準 超過倍率
ヒ素	1	1	0.025	0.01 以下	2.5倍

※その他の物質についても調査を実施していますが、基準超過はありません。

2 汚染の原因

現時点では不明です。

なお、周辺地域には、「ヒ素」を原料に使用する工場・事業場はありません。

3 今後の対応

(1) 地下水調査について

「岐阜県地下水の適正管理及び汚染対策に関する要綱」に基づき、多治見市の協力を得て、基準超過地点から自然河川により隔てられた地域を除く半径250mの範囲内にある家庭及び事業場を対象に、井戸水の利用状況調査及び水質検査を直ちに実施します。

(2) 地域住民への情報提供について

周辺地域は上水道が普及していますが、井戸水を利用している場合は、水質検査結果が判明するまでの間、飲用自粛を呼びかけます。

（3）汚染土壌の対策について

汚染土壌の適正な管理等が講じられるよう土地開発公社に助言していきます。

【ヒ素に関する説明】

「ヒ素」は金属と非金属の両方の性質を持つ半金属元素であり、合金の添加材（硬さを高めるため）、半導体の原料、ガラスの消泡剤や脱色剤、花火の着火剤、塗料用の顔料、木材の防腐剤等に使用されています。また、ヒ素は地殻の表層部には重量比で0.0005%存在し、水中や土壤中、岩石、大気中に広く存在しています。ヒ素に汚染された井戸水の飲用による慢性の中毒症状としては、皮膚の角質化や色素沈着等が報告されています。

参考：化学物質ファクトシート-2012年版-（環境省発行）